

特集

白い“虚”塔 旭川医

病院長 解任 騒動 吉田学長の「人

科大学

で揺れる 事術」



▲旭川医大撮影・1月27日、黒田伸氏と吉田晃敏学長



▲古川博之病院長

背景に「学長VS病院長」の確執

解任の理由だが、
 ①「古川病院長は、学内会議の内容を録音、外部に漏えいした。それは職務上の義務違反に該当する」②「古川病院長は副学長を兼務し大学運営会議の構成員の立場にありながら報道機関の取材に応じ、大学の方針とは異なる内容の発言をしたことと多大な混乱を招いた」というものだ。
 学内会議の録音というのは、週刊文春12月17日号が報じた「コロナが完全になくなるためには、あの病院（慶友会吉田病院）が完全になくなるしかない」といった吉田学長の発

旭川医科大学の吉田晃敏学長が慶友会吉田病院の患者受け入れを拒否する際、「あの病院はなくなるしかない」といった不適切発言が波紋を広げているが、事態は急展開、メディアの取材に応じた旭川医大病院の古川博之病院長が1月25日、電撃解任された。

全国の国立大学で4期14年の最長在任記録を持つ吉田学長の周辺でいったい何が起きているのか。
 白い“虚”塔・旭川医科大学の実像に迫る――。

（本誌・対馬 優雅）

言内容を指し、報道機関の取材というのは前出の週刊文春や民放TVが報じた「古川病院長が吉田病院からの患者の受け入れを吉田学長に要請したところ『患者を入院させるならお前が辞める』と言われた」旨の古川病院長の証言を指している。
 解任当日の1月25日に大学側から「病院長の解任について」の文書が各メディアに送られた。そこでは①と②の解任理由に加えて、

「お前が辞める」発言の経緯に触れ、「患者の受け入れ体制が整っていないかった」点や「大学病院は旭川の他の4基幹病院とは異なる役割を担う事情から均等受け入れに反対だった」ことを、その理由に挙げている。
 この解任は吉田学長を除く理事4人による4時間程の協議で決定され、古川病院長による説明の機会は1回だけで、不服申し立ての場もなかった。
 解任された古川病院長は2月1日に記者会見を行い、解任の撤回を要請。併せて大学が指摘する外部漏洩を否定し、吉田学長の「お



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

TEL 011-644-0101

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)